
平成 30 年 度

第2回 上越市青少年健全育成センター運営協議会

要 項

日 時 平成30年10月18日（木）
午後2時～午後4時
会 場 上越市教育プラザ 中会議室

上越市青少年健全育成センター

平成30年度 上越市青少年健全育成センター運営協議会委員名簿

No.	氏 名	推薦機関・団体名（役職等）	備考
1	飯 塚 裕	上越市小学校長会（小学校長）	
2	小 松 敦	上越市中学校長会（中学校長）	
3	竹 内 正 宏	上越地区高等学校長協会（高田農業高等学校長）	
4	井 部 佐恵子	上越市民生委員・児童委員協議会連合会（民生委員・児童委員）	
5	関 川 正 樹	上越地区保護司会（事務局長）	
6	山 本 条太郎	上越警察署（生活安全課長）	
7	杉 本 正 彦	上越市町内会長連絡協議会（会長）	
8	藤 井 清比古	上越市地域青少年育成会議協議会（会長）	会長
9	小 山 貞 栄	上越市子ども会連合会（会長）	
10	古 川 美也子	上越市小中学校PTA連絡協議会（事務局）	
11	岩 片 喜代子	上越市青少年健全育成委員協議会（副会長）	副会長
12	鈴 木 真理子	上越市立教育センター（スクールソーシャルワーカー）	
13	大 堀 み き	公募委員	
14	吉 岡 智 宣	公募委員	

委員任期：平成30年6月1日から平成32年5月31日まで

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 青少年健全育成センター事業の進捗状況（4月～9月）

(2) 若者支援事業の進捗状況

(3) 情報交換

(4) その他

4 その他

5 閉 会

会議メモ

平成30年度

第2回上越市青少年健全育成センター運営協議会

資 料

- | | | |
|---|---------------------|---------|
| 1 | 平成30年度運営方針、活動事業計画 | P 1～2 |
| 2 | 街頭指導の実施状況 | P 3～5 |
| 3 | 青色パトロール車による夏季特別街頭指導 | P 6 |
| 4 | 特別街頭指導の実施状況 | P 7 |
| 5 | PTA 一日街頭指導の実施状況 | P 8 |
| 6 | 育成委員協議会研修会 | P 9～10 |
| 7 | 環境浄化活動・立入調査 | P 11～12 |
| 8 | 健全育成活動（社会を明るくする運動） | P 13 |
| 9 | 若者育成支援事業 | P 14～15 |

1 活動事業計画

平成30年度 上越市青少年健全育成センター運営方針、事業計画（案）

1 運営方針

- (1) 青少年の健全育成のため、関係機関との情報共有及び連絡・調整を密にする。
- (2) 適切な声かけによる街頭指導活動を推進するとともに、育成委員の資質を向上するための研修に努める。
- (3) 若者育成支援について、関係機関と連携し自立支援に向けた取組の推進に努める。
- (4) 複雑且つ低年齢化する少年非行から子どもたちを守る一助として、環境浄化活動の推進に努める。
- (5) 青少年の健全育成に対する市民の関心や意識を高めるため、広報活動の充実に努める。
- (6) 地域の実情に応じた自主的な取組を促し、各地域青少年育成会議の支援に努める。

2 具体的な実施事項

- (1) 関係機関・団体との連携の強化
 - 小・中・高等学校・特別支援学校・警察連絡協議会との連携
 - 上越警察署、上越少年サポートセンター、上越警察ボランティアとの連携
 - 県健康福祉部児童家庭課及び県内各青少年育成センターとの連携
 - 関係機関・団体の会議、研修会への参加
 - 保護司会と連携した、“社会を明るくする運動”の推進
 - 地域青少年育成会議活動推進のための情報提供及び支援
- (2) 街頭指導活動
 - 継続的な街頭指導の実施、及び青パトを活用した巡回指導の充実
 - 警察署、警察ボランティアと連携した特別街頭指導の実施（7月、10月）
 - PTA一日街頭指導の実施（8月・9月）
 - 育成委員の資質向上を図るための研修の実施（充実）
 - 第1回 全員研修【4月18日（水）】
講話：「上越管内の青少年の状況」 講師：上越警察署生活安全課長
「街頭指導の目的・心得」 講師：上越サポートセンター長
 - 第2回 市内研修【6月22日（金）】
フリースクール やすづか学園の取組視察
 - 第3回 全員研修【7月14日（土）】
青少年健全育成県民大会（リージョンプラザコンサートホール）
 - 第4回 全員研修【11月23日（金）祝日】
若者育成支援事業「若者支援フェスタ」（教育プラザ 大会議室）
 - 育成委員の車輻に「子ども安全パトロール中」のマグネットシート着用を依頼し、「ながらパトロール」を実施
 - 自転車、喫煙、幼児・小学校低学年児童のあそび等、「注意カード」の活用
- (3) 若者育成支援活動
 - 若者の居場所（Fit）の開設と運営【新規】
 - ・ 場所：教育プラザ研修棟3階 小会議室（予定）
 - ・ 時間：月～金曜日 午前9時～午後5時（日曜日・祝祭日を除く）：希望により随時開設
 - ・ 内容：若者の自立支援活動、相談等の実施
 - *NPO えちご若者元気塾と連携し、希望者は「北出丸」での活動に参加
 - 若者育成支援団体の支援ネットワークの構築【新規】
 - ・ ネットワーク会議の開催（年数回）
 - ・ 困難を抱える若者の親の会の開催（7月から2ヶ月に1回程度）
 - 若者支援フェスタの開催【新規】

- ・目的
 - ・若者育成支援関係団体関係者及び悩みを持つ保護者等を対象に、上越市の支援団体の紹介や支援の状況を理解し活用してもらうことを目的に実施する。
 - ・若者育成支援関係団体の支援ネットワークづくりの一環として実施する。
- ・対象
- ・内容
 - 期 日 平成30年11月23日(金) 祝日
 - 会 場 教育プラザ (研修棟 大会議室)
 - 内 容
 - ①基調講演 テーマ 「困難を抱える若者の実態と支援の手だて」
講 師 新潟青陵大学 教授 斎藤まさ子 氏
 - ②市内支援団体の取組紹介と参集者との意見交換
発表者(3団体) ・えちご若者元気塾(若者支援活動)
(予 定) ・上越親子劇場(不登校親の会)
・KHJ 秋桜の会(ひきこもり親の会)
- ユースアドバイザー養成講座の開設(3講座)【新規】
 - ・目的
 - ・若者支援関係機関及び民間支援団体や希望する市民から参加してもらい、若者支援についての資質、能力の向上を図る。
 - ・若者の居場所(Fit)を支える支援員として協力してもらう人材育成をねらう。
 - ・対象 若者支援関係機関及び民間支援団体関係者、希望する市民(1講座20名程度)
 - ・会場 教育プラザ (研修棟 大会議室)
 - ・内容
 - ① 12月「思春期の特性と心理」 講師 新潟大学 教授 神村栄一(予定)
 - ② 1月「不登校、ひきこもりへの対応」 講師 新潟青陵大学 教授 藤 亨(予定)
 - ③ 2月「自立を促す働きかけ」 講師 上越教育大学 教授 佐藤賢治(予定)
- 若者応援セミナーの開催【充実】(講師は予定)
 - 6月 ①「不登校からのスタート！」 やすづか学園 (流石光信)
 - 7月 ②「高校は卒業したい、学び方いろいろ！」 つくば開成高校 (石橋由加里)
 - 8月 ③「仕事に就く、働くということ！」 若者サポステ (吉岡智宣)
 - 9月 ④「18歳からどう生きるか！」 包括支援センター (中屋万里子)
 - 10月 ⑤「自分のできることから！」 えちご若者元気塾 (藤田健男)

(4) 環境浄化活動

- 地域青少年育成会議に依頼し「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」を実施
- 有害図書類販売店、有害図書类等自動販売機等の立入調査の実施と指導
- 有害図書类等自動販売機撤去の継続的な取組の実施

(5) 広報活動

- 「青少年健全育成のあゆみ」の作成・配布
- 「青少年健全育成委員協議会だより」の発行
- 「青少年健全育成センターだより『愛育』」の発行
- 広報「じょうえつ」への啓発記事の掲載、及び報道機関への育成委員活動紹介の依頼

(6) 地域青少年育成会議活動推進のための情報提供及び支援

- コーディネーター委員会の活動支援
- 地域青少年まちづくりワークショップ等の活動支援
- メディア・スマホに関わる研修会の支援

2 街頭指導の実施状況

平成30年度 4月・5月の街頭指導結果

() は昨年度実績

	4 月				5 月					
	1 出動回数	高田地区	7	(10)	高田地区	10	(11)	直江津地区	7	(8)
	直江津地区	7	(8)	直江津地区	8	(8)	合計	14	(18)	
	合計	14	(18)	合計	18	(19)	2	高田地区	37	(37)
2 出動延人数	高田地区	37	(37)	高田地区	47	(41)	直江津地区	23	(27)	
	直江津地区	23	(27)	直江津地区	27	(29)	合計	60	(64)	
	合計	60	(64)	合計	74	(70)	3	高校生	6	(1)
3 注意・指導をした延人数	高校生	6	(1)	高校生	5	(10)	中学生	8	(6)	
	中学生	8	(6)	中学生	4	(5)	小学生	11	(13)	
	小学生	11	(13)	小学生	6	(2)	幼児	6	(8)	
	幼児	6	(8)	幼児	1	(5)	計	31	(28)	
	計	31	(28)	計	16	(22)	4	高校生	0	(0)
4 主な内容	高校生	0	(0)	高校生	0	(0)	中学生	0	(0)	
怠学	中学生	0	(0)	中学生	0	(0)	小学生	0	(0)	
ゲーム機遊び	小学生	6	(0)	小学生	4	(4)	幼児	11	(13)	
交通ルール無視	幼児	8	(6)	幼児	6	(0)	合計	6	(8)	
喫煙	合計	0	(0)	合計	5	(0)	高校生	0	(0)	
危険な遊び	高校生	0	(0)	高校生	0	(0)	中学生	0	(0)	
ジベタリアン	中学生	0	(0)	中学生	0	(1)	小学生	0	(0)	
その他	小学生	0	(0)	小学生	0	(0)	幼児	0	(0)	
	幼児	0	(0)	幼児	0	(0)	合計	0	(0)	
	合計	0	(0)	合計	0	(0)	5	高校生	232	(258)
5 挨拶・よびかけをした延人数	高校生	232	(258)	高校生	449	(419)	中学生	93	(144)	
	中学生	93	(144)	中学生	140	(181)	小学生	119	(461)	
	小学生	119	(461)	小学生	678	(303)	幼児	22	(20)	
	幼児	22	(20)	幼児	32	(12)	計	466	(883)	
	計	466	(883)	計	1299	(915)	3・5の集計	合計	497	(911)
	合計	497	(911)	合計	1315	(937)				

4 月	5 月
<ul style="list-style-type: none"> ・声掛けに対して明るく元気な返事が返ってきた。(4) ・ゲームセンター・コーナーで中学生3人に声をかけ、注意喚起を行ったところ。素直に返答、あいさつしてくれた。 ・春日山駅前でタバコの吸殻が3本散乱していたので拾った。 ・公共施設(トイレ、駐車場、駐輪場など)は清掃が行き届ききれいになっていた。(2) ・立体駐車場にタバコの吸殻と割れた酒ビンがあった。 ・親子でゲームセンター、本屋のゲームコーナー等で遊ぶ子どもさんが多かった。 ・アピナでは中学生が5人自転車で来ていた。帰りのルールを守って帰宅するように声掛けをしたところ、ハイと元気な声で答えてくれた。 ・中学生30人ほどに、気を付けて帰宅しなさいと声を掛けたところ、素直な対応が返ってきた。 ・有害掲示物撤去枚数<高田0枚、直江津0枚> 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高生に声掛けすると皆素直に挨拶してくれた。(7) ・自発的に挨拶してくれる高校生(小学生)がいた。(3) ・学びの交流館で15人くらい学習していた。 ・イヤホンをして自転車を運転する高校生に注意した。(3) ・アピナに子ども連れお年寄りが多い。 ・高田駅前に生徒5~6人がジベタリアンしていた。 ・立体駐車場等、タバコの吸殻が10本くらいあった。 ・駅前雁木通りを自転車走行の高校生、大人に注意した。 ・鍵のかかっていない自転車が数台あった。注意が必要である。 ・立体駐車場、セブン、春日山駅前等で高校生が飲食していた。 ・有害掲示物撤去枚数<高田0枚、直江津0枚>

平成30年度 6月・7月の街頭指導結果

() は昨年度実績

	6 月				7 月				
	1 出動回数	高田地区	10	(10)	高田地区	10	(12)	直江津地区	8
	直江津地区	8	(8)	直江津地区	8	(9)	合計	18	(21)
	合計	18	(18)	合計	18	(21)			
2 出動延人数	高田地区	39	(38)	高田地区	40	(47)	直江津地区	27	(30)
	直江津地区	27	(30)	直江津地区	28	(33)	合計	66	(68)
	合計	66	(68)	合計	68	(80)			
3 注意・指導をした延人数	高校生	8	(15)	高校生	2	(7)	中学生	2	(0)
	中学生	2	(0)	中学生	3	(7)	小学生	14	(10)
	小学生	14	(10)	小学生	12	(4)	幼児	0	(17)
	幼児	0	(17)	幼児	0	(2)	計	24	(42)
	計	24	(42)	計	17	(20)			
4 主な内容	高校生	中学生	小学生	幼 児	高校生	中学生	小学生	幼 児	
怠 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
ゲーム機遊び	0 (10)	2 (0)	12 (10)	0 (17)	0 (10)	3 (7)	12 (4)	0 (2)	
交通ルール無視	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	
喫 煙	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (0)	
危険な遊び	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
ジベタリアン	8 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (7)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
5 挨拶・よびかけをした延人数	高校生	306	(151)	高校生	256	(323)	中学生	274	(194)
	中学生	274	(194)	中学生	186	(223)	小学生	586	(371)
	小学生	586	(371)	小学生	476	(370)	幼児	36	(6)
	幼児	36	(6)	幼児	36	(11)	計	1250	(722)
	計	1250	(722)	計	954	(927)			
3・5の集計	合計	1229	(764)	合計	971	(947)			

6 月	7 月
<ul style="list-style-type: none"> ・声かけに対してあいさつを返してくれた。(8) ・謙信交流館駅側出入り口付近でジベタリアンの高校生3人に注意した。 ・自転車2台で右側通行で並進(小学生2人)に注意した。 ・イヤホンをして自転車を運転する高校生に注意をした。 ・イオンのゲームコーナーで中学生3人に声かけをした。 ・高田駅隣の立体駐車場に吸殻が4本あった。2 ・コンビニ店員から、スマホで子ども達の写真を撮影する不審な男女についての情報があった。 ・カラオケ店で中学生による迷惑行為の話があった。 <p>・有害掲示物撤去枚数<高田0枚、直江津0枚></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトーが喫煙の煙で空気が悪かった。1歳未満の赤ん坊を連れた母娘がゲームをしていた。 ・声かけに対しての返答は大変良かった。2 ・ドンキの側に、空き缶・ゴミがたくさん捨ててあった。 ・両耳イヤホンで自転車運転の高校生に注意した。 ・カップル数組と会ったが特に問題があるようには見えなかった。 ・春日山駅前にタバコの吸殻(5本)が散乱していた。 ・春日謙信交流館に高校生8人がたむろしていた。声をかけたら「これから飯を食べに行く」と言っていた。 ・直江津駅周辺でスマホに夢中になっていて声かけに気づいてくれない子がいた。 ・暑いせいかアピナに多くの子供たちがいた。親と離れないように、小遣いを使い過ぎないように声掛けした。 ・春日公園でゴミ拾いをした。タバコの吸殻が多かった。 ・中学生が自転車を置いて道路に座っていたので注意した。素直に気づいてくれた。 ・日誌に中等教育学校生徒の記入欄を作ってもらいたい。 <p>・有害掲示物撤去枚数<高田0枚、直江津0枚></p>

平成30年度 8月・9月の街頭指導結果

() は昨年度実績

	8 月				9 月				
	1 出動回数	高田地区	17	(15)	高田地区	10	(14)	直江津地区	8
	直江津地区	16	(10)	直江津地区	8	(12)	合計	18	(26)
	合計	33	(25)	合計	18	(26)			
2 出動延人数	高田地区	69	(57)	高田地区	38	(55)	直江津地区	30	(43)
	直江津地区	60	(33)	直江津地区	30	(43)	合計	68	(98)
	合計	129	(90)	合計	68	(98)			
3 注意・指導をした延人数	高校生	8	(5)	高校生	31	(19)	中学生	27	(24)
	中学生	46	(24)	中学生	27	(24)	小学生	25	(13)
	小学生	62	(23)	小学生	25	(13)	幼児	9	(12)
	幼児	19	(10)	幼児	9	(12)	計	92	(68)
	計	135	(62)	計	92	(68)			
4 主な内容	高校生	中学生	小学生	幼 児	高校生	中学生	小学生	幼 児	
怠学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
ゲーム機遊び	0 (2)	43 (20)	62 (23)	19 (10)	5 (0)	27 (9)	25 (13)	9 (12)	
交通ルール無視	1 (0)	3 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (13)	0 (10)	0 (0)	0 (0)	
喫煙	0 (3)	0 (0)	0 (0)	- (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (0)	
危険な遊び	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
ジベタリアン	7 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (6)	0 (5)	0 (0)	0 (0)	
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
5 挨拶・よびかけをした延人数	高校生	534	(229)	高校生	307	(558)	中学生	183	(362)
	中学生	492	(137)	中学生	183	(362)	小学生	261	(426)
	小学生	502	(63)	小学生	261	(426)	幼児	78	(30)
	幼児	84	(11)	幼児	78	(30)	計	829	(1376)
	計	1621	(440)	計	829	(1376)			
3・5の集計	合計	1747	(502)	合計	921	(1444)			

※ 8月の直江津地区は青パト夏季特別巡回の数値を含む。

8 月	9 月
<ul style="list-style-type: none"> 高田駅前の周辺に大量のゴミ、主にタバコの吸殻。(3) 夏休みに入りカラオケに中高生が多くなっている。店では中学生に6時には帰るように指導している。 謙信交流館の中庭に座っていた高校生2人に注意した。 春日山駅前にタバコが散乱していたので回収した。 夏休みのためか子供達は少なかった。高田駅では呼び掛けに対して応答はよい。(2) ゲームコーナーに子供たちが多くいたが特に問題はなかった。 女子中学が3人自転車右側通行で広がり運転をしていたので注意した。 声掛けをした子供たちは皆素直に答えてくれた。(3) アピナでは親子連れと祖父母に連れられた子供が多かった。 学びの交流館内で勉強している生徒が10人ほどいた。暑さのためか外出している子供はほとんど見なかった。 コンビニエンスストアに2店入ったが特に問題はないとのことであった。 有害掲示物撤去枚数<高田0枚、直江津0枚> 	<ul style="list-style-type: none"> 声掛けをすると気持ちのよい挨拶が返ってきた。(3) アピタ、J-Max ゲームセンターに小中生徒が多数いたが、振替休日や早上がりと言っていた。 高田駅前にジベタリアンが20名程(男女とも)いた。小学生の子どもたちは元気よく挨拶を返してくれた。 ゲームコーナー、映画館での親子連れが多かったが特に問題はなかった。 高校生の電車の時間帯に合ったため、大勢とあいさつを元気に交わすことができた。 ゴミが先週に引き続き多かった。特にたばこの吸殻。 高田駅立体駐車場にタバコの吸殻が多かった。 謙信交流館に高校生が10名くらいいて、勉強をしている者、友達と会話をしている者等がいたが静かにしていた。 道端で交差する大人の方や地域の方も挨拶を返してくれることが多くなった。 夕暮れも早くなったせい子供たちの姿はあまりなかった。 有害掲示物撤去枚数<高田0枚、直江津0枚>

3 青パトロール車による夏季特別巡回指導

青色パトロール車夏季特別巡回指導

1 実施日・参加者

期日 (8月)	3日 金	6日 月	7日 火	10日 金	15日 水	17日 金	22日 水	27日 月	30日 木
参加者	増田 野澤 来海	岩片 小関 牛木 磯貝	増田 土肥 袖山	柴山 岩片 杉原	山崎 本間 柴山	滝見 山崎	曾我 塚田 野澤	土肥 小関 磯貝	来海 野沢 杉原

※6日、7日は通常の巡回日（午後3時～午後5時）

2 巡回時間 午後4時～午後6時

3 巡回コース

教育プラザ→春日新田→港町→うみがたり→五智公園→雅子妃記念公園→

春日山駅→山麓線→高田公園→稲田→ウイングマーケット→イオン→教育プラザ

4 呼びかけ等集計結果

	幼児	小学生	中学生	高校生	一般少年	合計
あいさつ・よびかけ	51人	232人	283人	170人	169人	905人

5 巡回指導記録より

- ・学校は休みであるが直江津水族館（うみがたり）の横で100名くらいの方が歩いていました。マイクで声掛けしたところ手を振り返してくれた。
- ・市内くまなく声掛けをした。親子連れが多くいて、声を掛けると子供も大人も返答してくれた。
- ・猛暑のため人の気配があまりなかった。自転車乗りの小～中の子供達に注意を呼びかけた。
- ・有職少年の50ccのバイクの改造でナンバープレートが見えにくくなっており注意をした。
- ・高校生女子の二人乗り自転車走行があった。注意したら降りた。
- ・青パトも次第に地域に浸透してきたのか、子供達や地域の方々の中には手を挙げたり会釈したりの反応が多く見られるようになってきた。

4 特別街頭指導の実施状況

	第 1 回	第 2 回
日 時	平成30年7月12日(木) 15:30~17:30	平成30年10月11日(木) 15:30~17:30
場 所	・えちごトキめき鉄道南高田駅周辺	・えちごトキめき鉄道高田駅周辺
参加団体	<ul style="list-style-type: none"> ・上越地区少年警察ボランティア連絡協議会 ・上越少年サポートセンター ・青少年健全育成委員 ・青少年健全育成センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・上越地区少年警察ボランティア連絡協議会 ・上越少年サポートセンター ・青少年健全育成委員 ・青少年健全育成センター
集合場所	・南高田駅前(駅駐輪場前)	・高田駅(駅前交番付近)
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・南高田駅の利用状況、マナー ・自転車乗り ・南高田駅周辺の街頭指導 ・その他 状況判断し指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・高田駅の利用状況 ・自転車乗り ・高田駅周辺の街頭指導 ・その他 状況判断し指導
育成委員 参加者の 割り振り	<ul style="list-style-type: none"> ・高田地区役員(岩片喜代子) ・ // (牛木 昇) ・ // (塚田百合子) ・ // (滝見 典子) ・(高田南城高校:古木 隆一) ・(高田商業高校:大島 勉) ・(高田農業高校:松嶋 純平) ・(関根学園高校:高木 厳浩) ・育成センター職員(2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高田地区役員(野澤 武憲) ・ // (柴山 久雄) ・ // (小関 育也) ・ // (磯貝 弘之) ・(高田 高校:太田 雄一) ・(高田北城高校:佐藤 一輝) ・(上越総合技術高校:吉田 勝) ・(上越 高校:藤川 祐司) ・(直江津中等教育学校:田村 一飛) ・育成センター職員(2名)

(第1回特別街頭指導の様子):「育成委員協議会だより」より

7月12日(木)、「上越防犯の日」に合わせて南高田駅周辺で特別街頭指導を行いました。育成委員と少年警察ボランティア20名で、中・高校生や地域の方々への声かけを行いました。イヤホンをしてながら通行する高校生が少し見られましたが、大きくマナーを違反する姿は見られませんでした。事故なく通学するように声をかけました。

スマホを見ながら自転車運転をするなどの違反行為はみられないものの、高校生ではスマホを見ながら歩く姿やイヤホンで音楽を聴きながら歩く姿が見られます。事故につながる危険がありますので、今後も街頭での指導の必要が感じられました。



南高田駅前にて打合せ



中学生への街頭での声かけ

5 PTA 一日街頭指導の実施状況

平成30年度 小・中学校「PTA一日街頭指導」実施状況

(1) 実施期間 平成30年8月1日～9月30日

(2) 実施日・参加人数

N0	月日曜	実施PTA	PT	育	計
1	8. 2 (水)	東本町小	1	8	11
2		戸野目小	1		
3		名立中	1		
4	8. 4 (土)	稲田小	1	7	10
5		大湊町小	1		
6		安塚中	1		
7	8. 7 (火)	大手町小	1	3	4
8	8. 8 (水)	八千浦小	1	7	10
9		里公小	1		
10		明治小	1		
11	8. 10 (金)	豊原小	1	4	6
12		春日新田小	1		
13	8. 17 (金)	黒田小	1	5	6
14	8. 18 (土)	保倉小	1	4	5
15	8. 21 (火)	板倉中	1	4	5
16	8. 22 (水)	高土小	1	4	5
17	8. 24 (金)	八千浦中	1	3	5
18		浦川原中	1		
19	8. 29 (水)	直江津南小	1	3	5
20		谷浜小	1		
21	8. 30 (木)	大町小	1	6	10
22		八千浦中	1		
23		諏訪小	1		
24		牧中	1		
25	8. 31 (金)	高田西小	2	4	6

N0	月日曜	実施PTA	PT	育	計
26	9. 1 (土)	南本町小	1	4	5
27	9. 5 (水)	直江津小	1	4	7
28		古城小	1		
29		三和中	1		
30	9. 6 (木)	三郷小	1	4	6
31		柿崎中	1		
32	9. 11 (木)	北諏訪小	1	4	7
33		春日小	2		
34	9. 14 (金)	国府小	1	4	6
35		潮陵中	1		
36	9. 15 (土)	上雲寺小	1	3	4
37	9. 18 (火)	南川小	1	3	4
38	9. 19 (火)	飯小	1	4	5
39	9. 22 (土)	高志小	3	4	8
40		有田小	1		
41	9. 27 (木)	清里中	1	3	4
計			45	99	144

(表中の「育」は育成委員)

小学校 30校

中学校 11校

計 41校

(3) 振り返り

今年も、8月・9月の2カ月に渡り実施しました。期間中例年になく猛暑が重なり街頭での子どもたちの姿が少ない時期もありましたが、街頭指導の実際に触れていただき、参加した保護者の方々からは、次のような感想が寄せられました。

- ・声掛けをすると、ほとんどの学生が返事を返してくれ、素直な姿を見ることができました。
- ・こうした取組が地域の犯罪やトラブル発生の抑制として役立っていると感じました。
- ・育成委員のみなさんが1年を通して活動をしてくださっているおかげで子どもたちの安全が守られているのだと痛感しました。
- ・今回初めて参加させていただき校外指導の大切さがわかりました。
- ・保護者が校外生活の実態を把握するためにとても貴重な経験になりました。

PTA一日街頭指導は郊外における子どもたちの生活や行動の様子を把握していただき、家庭や地域での指導に役立てていただくことがねらいです。参加された皆様には今後、各学校のPTAの機会に今回の経験を伝達していただくようお願いしたいと思います。たいへんありがとうございました。

6 育成委員協議会研修会

第1回育成委員協議会研修会（概要） 4月18日（総会後）

『街頭指導の心得と実践』 上越少年サポートセンター長 佐々木 優共 様

○「最初は簡単な挨拶から」

初めは簡単な挨拶から入り、回数を重ねる中で次の一言を加える。

相手の警戒心を解きながら、いつかはじっくりと話せる関係づくりをめざす。

○「SNSの問題」

ネットの中だけの交流。面と向かって話をする事への恐怖感、不安。

言葉を交わすことの効果、癒しの効果。生身の人間関係をつくることの大切さ

○「問題行動の背景」

日常生活の中で学級や家庭に自分の居場所を見つけられない子どもたち。

夢や希望がなく孤独や将来への不安抱え、生きづらさを抱えている少年たち。

（このような子どもたちの背景を街頭指導の際にもおさえておく）

○「子どもたちの立場に立ち話を聴く」

叱責だけでは不十分。形だけの優しい言葉かけはよく受け止められない。

子どもたちの立場や視点に立って、まず話をききましょう。

第2回育成委員協議会研修会「やすづか学園」訪問研修（概要） 6月22日

流石学園長と和栗会長（菱里地区支援委員会）より、学園の取組、地域の支援について、それぞれの立場から詳しく説明していただきました。

～主な研修内容（講話と資料より）～

○不登校に悩む子どもたちに「心の居場所を」

不登校に悩み苦しむ子どもたちの傷ついた心を癒し、失くした自信と元気を取り戻すためには「心の居場所」が必要です。やすづか学園では、子どもたちの人間的成長を促し、たくましく自立する力を培うよう地域の方々の協力を得ながら力強く支援しています。

今年度からは「日帰りコース」も開設され、上越市近隣の不登校に悩む子どもたちをより幅広く受入れることが可能になりました。

○学園生活の3本柱

1 規則正しい生活

学園や寮での生活を通して、適度に体を動かし、しっかりと食事と睡眠をとります。規則正しい生活をする事で、体の心の状態を整えています。

2 学校復帰、高校進学を目指した学習

午前中は教科学習に取り組んでいます。午前中を3コマに分けて、国数英社理の5教科を中心に学習しています。子どもたちは学校に籍を置いたまま、学園に入学します。子どもたちがいつでも学校復帰できるように連携をとっています。



3 他者と関わる体験活動

不登校の子どもたちは人との関わりを持つことに不安を感じています。学園では仲間と協力しながら活動を行うだけでなく、地域行事に参加したりボランティア活動を体験したりすることを通して、地域と関わることの楽しみや、人の役に立つことの喜びを味わうことができるようにしています。

○菱里地区支援委員会の取組

「学園の子どもたちを地域の子として育てる」という気持ちで、菱里地区支援委員会の皆さんが中心となり、親元を離れて生活する子どもたちに温かな支援を続けています。野菜づくりなどの体験活動や行事を通して地域の皆さんと交流する中で、子どもたちは少しずつ成長していきます。



寮（宿泊施設）の説明



和栗会長より地域支援の説明

第3回育成委員協議会研修会「青少年健全育成県民大会」への参加 7月14日

7月14日（土）リージョンプラザ上越を会場に、青少年健全育成県民大会が開催されました。育成委員協議会では、これを今年度の第3回研修会として位置付けておりましたが、36名の委員の皆さんの参加を得て大いに研修を深める場となりました。上越市を代表して春日地域育成会議、三和区育成会議からの発表があり、地域全体で子どもたちの健全育成に取り組む実践が紹介されました。また、講師の大山賢一先生からは「地域ぐるみで楽しみながら子育てを」と題した講演があり、地域・家庭・学校の連携の大切さを改めて考える機会になりました。



県民大会開会式



地域育成会議の発表

平成30年度「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」活動状況一覧表

市町村名		上越市		担当者 姓職	
課 名		青少年健全育成センター		指導員 曾我茂樹	
社会環境調査活動の概況		青少年を取り巻く各種社会環境調査内訳			
調査回数		83 回		区 分	
延		275 人		区 分	
(内訳延数)				数	
・市町村担当者		9 人		酒 類	
・警察官		1 人		タ バ コ	
・少年警察ボランティア		2 人		3	
・育成指導員		11 人		ゲ ー ム 場	
・PTA役員		96 人		総 数	
・民生・児童委員		17 人		0 店	
・保護司		1 人		午後6時以降営業を行っているゲーム場	
・健康福祉（環境）部		0 人		うち16歳未満保護者同伴表示有	
・市町村民会議役員		1 人		0 店	
・町内会役員		66 人		午後10時以降営業を行っているゲーム場	
・その他		71 人		うち18歳未満入場禁止表示有	
				0 店	
				エアソフトガン、ガスガン、クロスボウ取扱店	
				0 店	
				おとなのおもちゃ取扱店	
				0 店	
				自動販売機	
				6 台	
				成人向DVD販売店等	
				3 店	
				成人向DVD販売コンビニエンスストア	
				6 店	
				DVD自動販売機	
				9 台	
				貸出店	
				一般のみ	
				0 店	
				成人向有	
				0 店	
				DVD自動貸出機	
				0 台	
				6	
				カラオケボックス	
				6 店	
				深夜入場禁止表示有	
				5 店	
				7	
				マンガ喫茶総数	
				2 店	
				8	
				インターネットカフェ総数	
				2 店	
				フィルタリング対応店舗	
				2 店	

1 社会環境実態調査の結果<速報値>

(青少年健全育成委員協議会だより 10月号より)

今年も延べ275名という多くの皆さんの協力をいただき調査を終了しました。

コンビニエンスストアが減少していますが、これは一部チェーンの閉店等が関係しています。酒類やタバコの自動販売機は減少傾向が続いており、コンビニエンスストアがその役割を代替しています。また、有害図書類を扱う書店やコンビニエンスストアも減少しています。コンビニエンスストアにおける販売の基準条件は概ね守られているようです。

DVD等自販機は28年度と比べて1ヶ所減り、3カ所9台となっています。全体として、青少年を取り巻く社会環境は、引き続き改善の方向にあると判断されます。(隔年調査の項目が含まれるため、H28年と比較しています)

【コンビニでの酒類・タバコ販売状況】 (▲は減)

	30年度	28年度	比較
酒類販売店数	86店	88店	▲2店
タバコ販売店数	86店	87店	▲1店

【酒類・タバコ自動販売機状況】

	30年度	28年度	比較
酒類販売機数	10台	15台	▲5台
タバコ販売機数	177台	196台	▲19台

【有害図書販売状況】

	30年度	28年度	比較
書店総数	19店	21店	▲2店
有害図書販売店数	7店	9店	▲2店
コンビニ総数	86店	88店	▲2店
有害図書販売店数	76店	85店	▲9店

【図書類・玩具・DVD等自動販売機設置状況】

	30年度	28年度	比較
設置箇所	3ヶ所	4ヶ所	▲1ヶ所
設置台数	9台	12台	▲3台

2 立入調査

平成30年9月27日(木) (図書類自動販売機 3台)

順番	予定時間	店舗名/設置箇所	参加者
1	14:00から 15:0まで	有限会社 北陸自販 上越市三和区下中 1237 番地 (3台)	<ul style="list-style-type: none"> 北陸自販担当者 上越警察署立入調査員 杉原調査員 山崎、曾我 各調査員

平成30年9月28日(金) (図書類自動販売機 6台)

順番	予定時間	店舗名/設置箇所	参加者
1	14:00から 14:15まで	有限会社 セピアコーポレーション 上越市中郷区二本木 2,201 番地 2 (2台)	<ul style="list-style-type: none"> セピア担当者 妙高警察署立入調査員 上越警察署立入調査員
2	15:00から 15:15まで	有限会社 セピアコーポレーション 上越市頸城区大谷地 132 番地 1 (4台)	<ul style="list-style-type: none"> 野澤、牛木 各調査員 曾我調査員

県青少年健全育成条例に基づく立ち入り調査を上記の内容で行った。現地にて条例に対する違反がないことを確認するとともに、「18歳未満立ち入禁止」の表示が薄くなっている点や、周辺の環境整備などの点について警察より設置業者への指導が行われた。

8 健全育成活動（社会を明るくする運動）

第68回“社会を明るくする運動”強調月間街頭宣伝実施
 “社会を明るくする運動”上越市推進委員会
 （事務局）上越地区保護司会事務局
 上越市青少年健全育成センター

代表責任者		第1班（高田・中部分区） 高田分区長					第2班（直江津分区） 直江津分区長		
日 時		7月7日（土） 出発式午前9時30分 開始午前10時					7月8日（日） 高田と同じ時間		
集 合 場 所		大手町小学校体育館					レインボーセンター 多目的室		
宣 伝 場 所		朝市	あすとび あ高田	イレブン プラザ	イオン	パロー	朝市	イトーヨー カドー	直江津駅 前
参 加 構 成 員	保 護 司 会	13	3	3	5	5	11	2	2
	更生保護女性会	4	0	1	2	0	3	1	0
	B B S 会	1	0	0	0	0	1	0	0
	セ ン タ ー 育 成 委 員 会	3	1	1	2	1	4	1	1
	民 生 委 員	2	0	0	1	0	2	1	0
	連 合 婦 人 会	1	0	0	0	1	2	1	0
	町 内 会 長 会 連 絡 協 議 会	1	0	0	1	1	1	1	0
	事 務 局	1	0	0	1	1	1	1	1
	合 計	26	4	5	12	9	25	8	4

今年も、7月7日（高田地区）・8日（直江津地区）の両日、朝市の開催に合わせて実施した。高田地区では大手町小学校体育館、直江津地区ではレインボーセンターに集合し、出発式を行った後、朝市、イオン、直江津駅前など各地点に分かれて宣伝活動を行った。保護司会、更生保護女性会、BBS、連合婦人会、子ども会、そして育成委員協議会など、高田地区56名、直江津地区37名が参加し、街頭に立ってうちわやティッシュを配りながら呼びかけた。今年は、市長、教育長、社会教育課長からも参加していただいた。



高田朝市での活動（上） 直江津出発式（下）

9 若者育成支援事業

若者育成支援事業の進捗状況

(4月～9月30日)

青少年健全育成センター

1 若者支援活動の広報（相談活動、親の会開催等の周知）

- ① ポスターの掲示、チラシの配布、市ホームページへの掲載など
- ② 小・中・高等学校との連携・・・校長会等での説明、保護者あての文書の配布など

2 相談・面談活動

- ① 相談回数 4月・・・2件（電話相談2件）
5月・・・12件（電話相談7件、面談4件、訪問相談1件）
6月・・・6件（電話相談2件、面談3件、訪問相談1件）
7月・・・0件
8月・・・1件（電話相談1件）
9月・・・7件（面談6件、訪問相談1件）
- ② 相談者（電話、面談者）・・・本人、保護者（父母、祖母、祖父）
- ③ 相談対象者内訳
高校生男性3名、女性3名、18歳以上男性3名、他10代男性1名（計10名）
- ④ 主な相談内容・・・不登校11件、ひきこもり8件、その他10件
- ⑤ その他
継続した定期面談を希望する相談者が出てきている。面談のための部屋の確保が困難な場合がある。

3 「上越市の親の会」の開催

不登校やひきこもりなど、子どもへの悩みをもつ親同士が語り合い支え合いながら、問題の解決へとつなげようとする活動

(1) 第1回開催

- ① 開催日時 平成30年7月26日（土）13:30～16:00
- ② 会場 上越市市民プラザ（第3会議室）
- ③ 参加者 28名（一般参加者20名、ピアサポーター4名、カウンセラー1名、センター職員3名）
- ④ 悩みの対象となる子ども・・・小学生4名、中学生8名、高校生4名、18歳以上1名
- ⑤ 主な悩みの内容・・・発達障害9件、不登校（傾向）9件、友人関係5件、進学5件、ネット依存4件、親子関係3件、就職2件 など（複数回答）
- ⑥ 出席者のアンケートより（主な感想）

- ・いろいろな悩みをもった方々と話ができてよかった。
- ・話をするのが楽になるし、話を聞くことで勇気がもらえる。
- ・同じように頑張っている方の話を聞き、自分だけではないと思い、ちょっと安心した。
- ・今まで親が話をする場がなかったので、参加してよかった。
- ・同じような悩みごとのグループや年齢別にグループをつくってほしい。
- ・2カ月に1回ではなくもう少しひんぱんに開催してもらいたい。

(2) 第2回開催

- ① 開催日時 平成30年9月29日(土) 13:30~16:00
- ② 会場 上越市市民プラザ(多目的学習室)
- ③ 参加者23名(一般参加者14名, ピアサポーター5名, カウンセラー1名, センター職員3名)
- ④ 悩みの対象となる子ども・・・小学生1名, 中学生1名, 高校生7名, 18歳以上2名
- ⑤ 主な悩みの内容・・・不登校(傾向)2件, 進学2件, ひきこもり1件, 就職1件, 友人関係1件, 発達障害1件 など(複数回答)
- ⑥ 出席者のアンケートより(主な感想)

- ・話をしたいこと、聞きたいことが気がねなくできる雰囲気がありとてもよかった。
- ・よい話が聞けてよかった。ありがとうございました。
- ・コミュニケーションや勉強が出来る場所など、子どもが参加できる場所がほしい。

4 若者応援セミナーの実施

第1回 「不登校を乗り越えて！」

実施日： 6月2日(土) 講師：流石光信 様(やすづか学園・学園長) 参加者：3名

第2回 「学びたい! 学びの場いろいろ」

実施日： 7月1日(日) 講師：石橋由加里 様(つくば開成学園高校) 参加者：4名

第3回 「仕事に就きたいあなたに！」

実施日： 8月4日(土) 講師：若林 正 様(上越地域若者サポートステーション) 参加者：2名

第4回 「社会的自立への選択！」

実施日： 9月8日(土) 講師：中屋万里子 様(すこやかならし包括支援センター) 参加者：4名

第5回 「今、自分にできることから！」(予定)

実施日：10月20日(土) 講師：藤田建男 様(えちご若者元気塾) 参加者： 名

進路選択に悩む親子や、子どもの不登校やひきこもりに悩む母親の参加があった。少人数であったため講師に対する具体的な質問や相談も交えながらセミナーを進めることができた。また、高校養護教諭や上越教育大学大学院生、青少年健全育成委員の参加もあり、青少年を支援する立場の皆さんの研修の場にもなっている。